

# 川奈神青浄

発行日 1999.6.1  
発行人 一真光

JOSEI KANAGAWA

大本山光明寺御法主戸松啓真台下御染筆

No.26

神奈川浄青機関紙

## これからの青年僧侶に期待すること

教化団長  
稗貫公夫



神浄青が結成されて二十五周年記念式典が三月一日多数の参加者を得て、一真光浄青会長のもとに盛大に行われた。時流にあった、はつらつとした若き浄青諸君の、あの時の姿が未だ私の脳裏に深く刻まれている。しかし現実社会の世相はどうか、いうに及ばず新聞紙上はもとより日々報道されるものは、私どもの心を暗くするものばかりである。最近では生徒の私語や勝手な行動で授業が成立しないという「学級崩壊」が深刻化している今日、これは単に象徴的な出来事であって、現代社会における乱れた社会現象の一例であろう。現代社会を憂る気持ちは私一人ではないはず。その原因を問うてもしょうがないが、くしくも、昨年は法然上人の撰撰集、撰述八百年の記念すべき年であった。我々はこの数年間、宗祖の遺徳を学び盛大に研鑽法要も行った。その宗祖の魂に触れるならば、この乱れた現実社会に黙してよいわけはない。宗祖の恩徳に報いるには、今こそ衆生教化、念仏弘通に一命を賭しても社会浄化に、宗門挙って立ち上がるべきである。そういう意味においても、これから二十一世紀に向けて青年僧の役割は非常に大きいものがある。今や教区や本山の行事遂行においては浄青の応援なくして成り立たないのが現状である。そのように浄青の活動は誰しも認めるところである。また雅楽、法式と多方面にわたり、日頃の意欲的な研鑽もすばらしい。しかし、この乱れた現代社会を深刻に受け止めるならば、あの平安末期、戦乱飢饉に憂る京の街に自ら比叡の山を駆け降りて、多くの人々をお救いした法然上人を思えば、今、浄青としてどう対応すべきか、ここらで檀家寺という永久保証（錯誤）の先祖供養寺の温床から脱皮して、本当に人間の生きる力になる宗祖の真意、本願念仏を民衆に伝えるべき好機にきている。二十一世紀に向けて、期待すべきは青年僧にある。現実世相を認識し法然上人の魂を現代社会に、実際行動としてどう具現していくか、青年僧の皆さんの叡知を引出して宗祖の恩徳に報いるべきである。青年僧の総意に期待したい。

## 共に進まん宗侶の道すじ

大本山光明寺執事長  
宮沢善弘



若い方々に期待するなど、そんなだいそれたことは申し上げられない。

さて、昨秋穏やかな午後、私は関係する霊園の道を下りていた。Xジャンのヒデの遺骨が納まっている霊園である。すると下の方から二人連れが来る。近付くと若い男女だ。腕を組んで、茶パツで、白いガウン。二人して桁はずれに大きな花たばを抱えている。私は声をかけた。

「君たち……ちよつと二人は止まった。」

「どこから来たの……」

「あつち……」 男の子が言った。

「あつち……どこに行くの……」

「あつち……」 男の子がまた言った。

「つまらぬことを尋ねたものだ。」

二人は進みかける。と女の子が言った。

「向こうに行くのと通りに出れないよ、工事してるから。横道に入らないとだめだよ。」

「ありがとう。ちゃんとお参りしてね……」

「はい……二人は一緒に言った。」

築地の本願寺での葬式には大騒ぎを演じた彼等だが、すんだ後は綺麗にしたと聞いた。

この霊園での納骨の時も、私たちは大変警戒したが大した事もなく終わった。私たち大人は、もっと彼等の本質を見て接すべきではなからうか。

ここで私は一つの発見をした。

彼等は向こうから、私はこちらから。両者は対面して、それから進む。私は彼等にとつての過去の方向に進むことになる。

彼等が見て来た彼等にとつての過去の事象は、つまりは、工事で道が通れないという教えは、私の未来の、これから当面する事象であつて、今は、彼等しか私に伝えられない真実である。しばしば、元祖に還れということが言われる。元祖に還れとは、元祖上人に直面することだということ、この真実に私は気が付かなかつた。改めて元祖様に直面する。すると、元祖のお言葉が直に私を勇気付けて下さる。

例えば『烏帽子も着ざる法然房』というお言葉は念佛申す私に無量の勇気付けとなる。



## 「教化と接化」

浄土宗宗議会議員 平野仁司

徳川中期貞極上人という方が記述された『蓮門住持訓』、その後期に仏上人が『続蓮門住持訓』を著わされている。昨秋、宮澤善弘上人よりそのコピーを戴く機会を得た。

これは昭和四十四年十一月に浄土宗が再刊行したものであるが、この中には一寺の住職がなすべき信と行が明細にわたって記述されている。一読をおすすめしたい。現在一般に使われている「教化」の語に対し、ここでは「接化」という言葉の表現をとっている。私自身、「おこがましい」のではという永年にわたる「教化」に対する思いがこれでふつきた。

三十二歳の時、突然先代の遷化、それまで塔婆一本も書いたこともない身に、いきなり重責を背負うことになった。何といつても一番の不安は「はたして檀家の人が自分についてきてくれるだろうか」だった。自身が伴わない分、形から先ず整えよう。自分を知ってもらうと同時に相手のことも知る。通夜では必ず固有名詞で故人の縁りの人（特に子供）に話しかける。一対一の接化で、まず身近かなところからの実践に取り組んだのである。

今、科学万能の時代、パソコン等よりも簡単に操作する若い世代に羨望の心を時として持つ。こうした時代の変遷期にあたり、もう一度寺のあり方をみる時、地域に根ざした檀信徒の心を寺に向けさせる「何か」が求められるのは必然だ。二十一世紀をきり拓く青少年の育成は最も重要な課題といえるだろう。それも「教化」ではなく「接化」の心で……。情熱をもってことにあたることは勿論だが、その中にやはりいつも謙虚さが欲しい。朱扇や中啓を我々は持つている。扇子を膝前に置くことにより他との一線を画す結果の意味があり、自分の居場所の確認と共に相手を敬う謙虚な心がそこに存在するのである。

『廣懺悔』の中に「慈心相向、佛眼相看」という語がある。「慈心をもつて相向い、佛眼をもって相看る」ただ見るのではない看護婦さんの看である。子供の目線、片方の手は体に触れて「くちゃん」と声をかける。經典の味わい深い言葉を実践に活かす。コンピュータをもってしても及ばないはらかな佛の大慈悲の心をもう一度見直し、共に手をたづさえて新世紀を迎えたいものである。



## これからの浄青活動に望むもの

浄土宗宗議会議員 里見嘉嗣

神浄青が自行、化他、和合を基本理念として今日まで、連綿と正道を歩まれご活躍、ご発展されていることに衷心より敬意を表したい。二十一世紀を目標とし今後の神浄青活動のあり方についての執筆依頼であるが、冒頭で述べた基本理念につきる。

温故知新という言葉があるが、過去の浄青活動を振り返ると共に、新しい時代に即応した活動を、会長を中心として会員相互の忌憚のない話し合いのもとに摸索、検討することが重要である。国際化、情報化、高齢化、少子化といわれている現代社会において神浄青としてどう対処していくのか、又、寺院教化活動、運営における悩み、苦しみについてどう対処していくのか、更には同世代の在家青年に対してどう対処していくのか、様々な問題を語り合い、実践していく場として神浄青の機能を高めて頂きたい。それには親睦活動（サロンの的であつてはならない）も大切であるが、特に法然上人のみ教えの研鑽に努め、布教活動にも、より一層専念して頂きたい。

昨年は法然上人が「選択本願念仏集」をご撰述して八百年という記念すべ

き年であった。成田宗務総長は選択元年と位置づけられ、浄土宗の新たな出発点であると常に申されている。スタートラインから二十一世紀を眺めた時、待ち受けているのは安穏な状況ではなく、むしろ危機的な状況であるといつても過言では無い。仏教界では、全国的な寺檀紛争、一般社会生活から乖離した寺院、僧侶のあり方に対する江湖の批判等により、今後の寺院の護持、運営に大きな支障変換をもたらすかもしれない。既にご承知の通り宗教法人法は立法府において、いとも簡単に改正できるのである。そうした状況を把握し、純粹な青年僧侶として江湖に対する赤心な教化活動を展開することが、二十一世紀に向けての使命である。一歩の着実な歩みが、やがては大きな明るい光となるであろう。

以上、小柄の戯言を申し上げたが、少しでも素意を汲み取って頂き、神浄青、宗団発展の為にご尽瘁を賜われれば幸甚である。

平成十一年度事業計画

4/21	平成十一年度定期総会
"	第一回理事会
5/25	第二回理事会
6/1	浄青松奈川第二十六号発行
6/15	他宗団視察研修会
6/16	(長野・善光寺)
6/17	第二十七回関プロ総会・研修会
7/2	(長野教区)
7/2	開山忌前清掃奉仕
"	第三回理事会
7/28	教区夏期僧堂手伝い
8/26	第二十九回全浄中央研修会
8/27	(岡山・誕生寺)
9上旬	第四回理事会
9/10	関プロ浄青別時念仏会
10/4	第十七回浄青松ソフトボール大会
10/8	(港南組担)
10/14	十夜前清掃奉仕
10/14	十夜法要手伝い・街頭伝道
	(京浜・港南)
10/1	第五回理事会
11/1	第十七回関プロソフトボール大会
11/2	(山梨教区)
11/	浄青松教化ポスター発行
12/	第六回理事会
12/	浄青松大忘年会
1下旬	御忌別時念仏会
"	第二十五回全浄代表者研修会
2/	高齢者介護体験
3/	第七回理事会
4/6	関プロ浄青別時念仏会
	(増上寺)

県浄ソフト

港南組会長

井上 俊道

毎年恒例の浄青松ソフトボール大会は、昨年の担当である港北組青年会に続いて、我が港南組青年会が担当して、来たる十月四日(月・友引)を行う予定です。

我々港南組青年会は、前回・前々回担当の時、いずれも雨に降られ、ボーリング大会に変更になってしまい、今回こそは、すばらしい天気の下、ソフトボールを思い切り行いたいと思いますので、皆さま、てるてる坊主の準備をお願いします。

会場は、横浜市金沢区(八景島より近く、横浜ベイサイドマリナーナよりは遠い、横横道路並木インターそば)で行う予定です。懇親会・表彰式は、すぐそばのテクノタワーホテル・ファミールで行いますので、ゆつくりシャワーを浴びて、汗を流し十八階で夜景を楽しみながら、美味しいお酒を飲みましょう。

会員の皆さまは、光明寺の十夜、自坊の十夜等、お忙しいとは存じますが、多数の参加をお待ちしております。交通の便も良く、関内・横浜等、二次会・三次会へと移動するには、最適な場所ですので、体調を整えていらして下さい。

川瀬和

介護と僧侶としての老人福祉

◆介護体験

平成十二年四月一日から介護保険制度が施行されます。これは戦後の社会福祉制度が出来て以来の大きな制度の改革になります。なぜこのような改革が必要なのかというと、

「現行の福祉制度が、戦後の救貧的な色合いの強かった社会福祉の考え方がそのままであるということ、そしてそれが、経済的に豊かになった時代に合わなくなってきた点」があげられます。

いままでも高齢者の介護を必要とする福祉サービスは、公

的なものとしていわばお上の世話になるというイメージがもたれています。これを保険料を納めてもらう代わりに、権利として利用してもらおうというわけです。すなわち健康保険料を払って医療機関にかかるのと同じようなシステムにしていこうということなのです。

ところが、この介護保険のモデルとなっているドイツ本国では様々な問題が起こっています。これにはいろいろ原因がありますが、ひとつには人と人のかかわりである介護を保険で、いわば金銭や点数で賄っていこうということにあるといわれています。

人と人のかかわりという

ことは時間や金銭に換算することは出来ませんが、それがすべてでは決してありません。長年かかわっていることによる人間関係や、人と人との相性、笑顔やいろいろな思いなどがとても重要な要因となります。

現在の試算では、どんどん高齢化が進んでいくと介護を必要とする人に対して提供できるサービスが不足し、大きな問題になるといわれています。

今でも高齢者のうち介護を必要とする人は全体のうちごくわずかなのですが、実際に介護が必要となったとき家族や本人への負担が非常に大きいということが問題となっています。

今後高齢社会の抱える問題は、介護をする人の身体的な問題だけではなく心の負担がとても大きなものとなります。二十一世紀に向けて大きく制度が変わっていく中で、人々の老後を精神的に我々がいかにか支えていけるかということがとても重要な課題であると考えます。

○興ソフト結果お知らせ

◎予選リーグ

A 神 15-5 (栃木) B 神 8-17 (東京A)  
 14-5 (埼玉B) 神 4-19 (山梨)  
 ※Aブロック1位 ※Cブロック3位

◎決勝トーナメント

A 神 8-6 (茨木) B 神 13-11 (埼玉A)  
 神 8-6 (東京B) 神 3-9 (群馬)  
 神 7-9 (東京A) ※10位  
 ※準優勝 (2位)

平成十一年度  
**総会報告**

平成十一年度神浄青定期総会が、去る四月二十一日に鎌倉大本山光明寺を会場に開催された。

今回の総会には神奈川県仏教青年会の森山会長が訪問され、ご挨拶と県仏青の会員増強の為、神浄青に協力を仰がれた。

一会長の挨拶後、議長は小田原組の成田昌弥上人が推薦にて任命された。総会成立の確認がされ、全会員一八名中八十五名の参加が認められ、総会が成立された。

事務局及び会計より、平成十年度事業報告並びに会計決算報告が述べられ、拍手にて承認された。

続いて平成十一年度事業計画案、会計予算案の説明が述べられ、こちらも問題なく承認された。

最後に例年通り加行成満者の紹介があり、一會長より各組理事へ代理として授与され定期総会は無事閉会された。

伝宗伝戒成満者

高座組 信法寺 大谷 宗通  
 鎌倉組 正光寺 伊香輪一曉  
 鎌倉組 天然寺 関谷 泰然  
 三浦組 満宗寺 松江 弘信  
 中郡組 大運寺 二見 文緒  
 以上五名が、昨年度神奈川教区で加行成満された方々である。ぜひ神浄青に入会して頂き、神浄青を支えて頂きたい。

平成十年度事業報告

4	3	3	2	2	1	12	11	11	10	10	9	8	7	7	6	6	4	4	
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6	3	1	24	23	17	25	27	24	13	12	15	29	28	30	16	15	20	14	

総会前予定者会議  
 平成十年度定期総会  
 第一回理事會  
 神浄青奈川第二十五号発行  
 第二回理事會  
 新旧役員歓送迎會  
 第二十六回関ブロック総会・研修會  
 (栃木教区)  
 開山忌前掃掃奉仕  
 第三回理事會  
 教区夏期僧堂手伝い  
 第二十八回全浄中央研修會  
 (千葉教区)  
 第四回理事會  
 十夜前掃掃奉仕  
 第五回理事會  
 十夜法要手伝い・街頭伝道  
 (港北組・小田原組担当)  
 関ブロック別時念仏會(善光寺)  
 第十六回関ブロックソフトボール大會  
 (千葉教区)  
 第十六回県浄青ソフトボール大會  
 (港北組担当)  
 第六回理事會 (横浜・同発)  
 神浄青大忘年会(横浜・同発)  
 御忌別時念仏會  
 第一回臨時總會  
 第七回理事會  
 第二十四回全浄代表者研修會  
 (京都百万遍知恩寺)  
 二十五周年記念會員手帳作成  
 二十五周年記念事業(高齢者疑似体験)  
 二十五周年記念式典  
 第八回理事會  
 関ブロック浄青別時念仏會  
 (増上寺)

浄青卒業生紹介

京浜組 一行寺 吉水智榮 上人  
 三浦組 天養院 吉水教雄 上人

☆代表して、吉永智榮さんよりメッセージを頂戴しました。

私が神浄青に入会したのは、初代平野会長の頃、大正大学に入学後すぐでした。当初から、京浜組の活動の他に神浄青の活動によく参加させていただきました。おかげで、県内・関ブロ・全国に多くの友人を得る事ができました。また、平成2年の全浄青中央研修會を神浄青が担当となり、先輩はじめ會員諸師一丸となって成満したことは、良い思い出として心に残っております。25年間、すばらしい仲間と共に行動できたことを感謝いたします。

※諸先輩方には長年に渡り、浄青活動に御尽力賜わり誠にありがとうございます。



ひろさちや講師のもとで始まりました。この講義で、自坊で副任職をやっている私にとって、実践的なもの

同様に、宗教思想的な教養の大切さを知ると共に、僧侶として勉強不足であることを実感させられました。二日目の研修の「木のいのち木のこころ」、これは宮大工である小川三夫先生の講義で、人だけでなく物にも尊い魂(こころ)があり、人や物を越えた慈しみの大切さを学びました。今度、関東ブロック浄土宗青年會總會並びに研修會が神奈川教区担当で行われることがあったら、まだ私は神浄青の執行部になつていないかどうかわかりませんが、神浄青の名に恥じぬよう他教区と親睦を深め、健全な青年僧の育成のために少しでも役に立てるようにがんばっていきたいと思います。

◆浄土宗関東ブロック研修會◆

平成十年六月十五日から十六日にかけて、第二十六回関東ブロック浄土宗青年會總會並びに研修會がホテルニュー塩原にて栃木教区担当で開催されました。私は高座組理事を任せられようやく神浄青會員である自覚をもち始めたそんな時です。少し早めの時間に着いた私は受付を済ませました。開白法要、開會式、總會が続いて行われ、一日目の研修の「輪廻とお浄土」が、



初日は、塩竈全国浄土宗青年会理事長の開会の挨拶に始まり、成田俊治師による「傳存創起」と題する講義が行われ、夜には懇親会も催されました。そして2日目には、京都市消防局による「普通救命講習」が行われ、全国から参集した会員もその大切さから、真剣に講習を受けていました。

## ☆「人工呼吸」「心臓マッサージ」の図解

### ①人口呼吸（図参照）

気道を確保したまま、額に当てた親指と人差指で鼻を摘み、大きく口をあけ傷病者の口を覆い、息を静かに吹き込み、後に胸の動きと呼気の確認をします。

また人口呼吸は、呼吸が完全に回復するか、救急隊や医師に引き渡すまで続けます。その際に、息は5秒に1回の割合で、1回およそ800～1200mlの量を1.5～2秒程度吹き込みます。

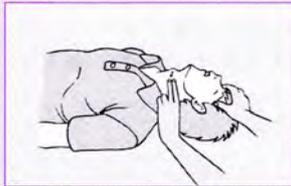


### ②脈拍の確認（図参照）

額にあてた手はそのまま気道確保の状態を保ち、もう一方の手（人差指と中指）で、頸のわきのくぼみの部分にあて、静かに5秒間脈拍を調べます。

脈拍があれば人口呼吸を続けます。

脈拍がなければ、心肺蘇生法（心臓マッサージ・人口呼吸）を行います。



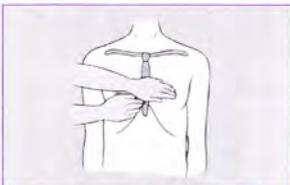
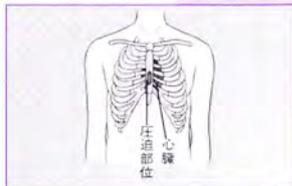
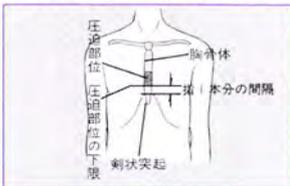
### ③心臓マッサージ（図参照）

5秒間観察しても脈拍がない時は、直ちに心臓マッサージを行います。

まず、圧迫位置の確認ですが、2本の指を肋骨の縁に沿って、剣状突起と肋骨縁で形勢される中央の切痕に2本の指を移動します。

移動した中指は切痕の上に、人差指は胸骨の上に置き、人差指の頭側の所が圧迫位置になります。

この部分をもう一方の手の付け根を当て、他方の手でその手の上に重ね、肘を真っ直ぐに伸ばし、胸を3.5～5cm垂直に圧迫します。圧迫の回数ですが、1分間に80～100回の速さで15回圧迫します。



以上が講習の内容を簡単に解説してきましたが、紙面の制約で不明瞭な点が多々ありますので、詳しくは最寄りの消防署にご相談ください。

また、「いざ」と言うときの人命救助となりますので、是非この「普通救命講習」を受講することをお勧めいたします。（資料提供 鎌倉市大船消防署）



ここでは、二日目の「普通救命講習」で学んだ、心肺蘇生法の基礎について解説していきます。

### ○なぜ、寺院に心肺蘇生法が？

まず講習のはじめに、救急隊員の方から「お寺という所は、意外と救急車の出勤が多く、特に法要後の食事中、寒いトイレに行つて倒れるケースが目立つ」といった報告があり、驚きを禁じえませんでした。

### ○蘇生率と社会復帰

ここで蘇生率について説明します。心臓、肺の機能が停止すると、蘇生率は時間の経過と共に急激に低下します。例えば、一分後では九十七％、二分後では九十％が蘇生可能ですが、五分後になると二十五％に低下します。

特に心臓が停止し、脳への血流が三、四分とだとすると脳機能の回復が困難となります。

このために、患者の救命率や社会復帰率の向上を図るには、救急車が来るまでの間に、付近にいる人が一刻も早く倒れた人に適切かつ速やかに応急処置をほどこし、救急隊の方に引き継ぐことがいかに重要であるかを痛感しました。

### ○まず、意識の確認

倒れている人を発見したら、患者に近づき「大丈夫ですか」とか「もしもし」と、問いかけて患者の肩を軽く叩き、意識状態を判断し救急車を呼びます。

意識がなく呼吸をしていたら、口中の異物の確認をし、吐物等による窒息を防ぎ、気道確保をした後、左図のような「昏睡体位」という姿勢で待ちます。

また、意識も呼吸、脈拍もない場合も同様に、異物確認、吐物による窒息を防ぎ気道確保をし、「人口呼吸」並びに「心臓マッサージ」に移ります。



昏睡体位

# 特別企画

## 新婚さんを<sup>3</sup>と<sup>3</sup>拝見!

○新婚さんに、6つの唐突な下記の質問をしてみました。

- ①知りあったきっかけ
- ②結婚の決めて
- ③お互いの呼び名
- ④夫婦として絶対に守る事
- ⑤夫婦の今後の目標
- ⑥心に残る婚前旅行

H.10. 11. 29

記念日

相馬 正覚さん・小織さん

S44.11.23生 S46.5.11生

- ①スキーツアー
- ②お互いと一緒にいて飽きなかったから
- ③殿(との) オイ!
- ④亭主関白
- ⑤温故知新
- ⑥熱川バナナワニ園(日帰り)



H.10. 5. 9

記念日



森本 有史さん・麻子さん

S48.2.27生 S50.6.16生

- ①大学の同級生
- ②彼女の作るごはんがおいしかったので、つい
- ③麻子さん、有史さん
- ④日常の中での礼儀を忘れない
- ⑤和気藹藹でいつまでも
- ⑥行っていません

H.10. 4. 19

記念日

渋谷 聡明さん・由美穂さん

S39.11.16生 S39.7.31生

- ①友達の紹介
- ②タイミング
- ③あなた、由美ちゃん
- ④浮気はするな
- ⑤青天白日
- ⑥箱根



期間限定

# Happy Wedding

記念日 H11.5.8



池田 敬道さん・伸子さん

S39.1.17生 S46.4.17生

- ①友人兼嫁の義兄の紹介
- ②いっしょにずっといたいと思ったこと
- ③伸子さん・ひろみち君
- ④お互いに信頼し合う事
- ⑤一期一会
- ⑥那須へのドライブ旅行

H11.4.18

記念日

石川 覚順さん・葉子さん

S39.7.7生 S? .8.5生

- ①先輩からの紹介
- ②潔癖症じゃなかった・自然体でいられるから
- ③ようこ・さとるさん
- ④隠し事はしない・太り過ぎに注意する
- ⑤諸国漫遊(したいな)
- ⑥行きたかった。うん♡



記念日 H11.3.7



斎藤 匡念さん・忍さん

S40.6.24生 S49.3.5生

- ①祝賀会
- ②自分自身の考え、気持ちを素直に出せる相手
- ③しのぶ、きょうちゃん
- ④一日一度の同称十念、思いやりを忘れぬ事
- ⑤和顔愛語
- ⑥京都・大阪・神戸の旅

メタタ  
このたびは  
おめでとう

H10.10.3

記念日

三荒 喜道さん・麗子さん

S45.4.1生 S44.9.23生

- ①高校のクラスメート
- ②責任をとる為
- ③よっちゃん。おい
- ④浮気はしない
- ⑤努力精進
- ⑥京都





# 25周年御礼のことば

第12期神浄青年会長 一 真光

平成十一年三月一日、お蔭さまをもちまして、神奈川教区浄土宗青年会二十五周年特別事業を無事に終了させていただきました。ありがとうございました。

これも常に神浄青を支えて頂いた歴代会長並びにOB諸師の皆様方、また、教区内諸大徳各位のご支援、ご指導のたまものと深く感謝申し上げます。そして、一丸となつて協力をしてくれた現役会員の皆様、誠に有り難うございました。

昭和四十八年平野初代会長の下、灯された神浄青の灯火も年を重ねる毎にその勢いを増し、「自行・化他・和合」の信条の基、活発な活動をしてまいりました。この二十五周年がひとつの起点となり、二十一世紀という新たな時代に向かい、神浄青の団結の和がこれから三十年・五十年、未来永劫と続くよう我々も一層精進してまいりたいと思っております。

会員の皆様はじめ関係諸大徳各位におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜われますよう心よりお願い申し上げます。御礼のことばといたします。

合掌

## 25周年記念行事

### シニア体験に

### 参加して



かつて、先代である父から、「その年にならないとわからないことがたくさんある」と言われたことがあります。

日ごろ、老人福祉の仕事に従事していて心がけている事のひとつに、よく「相手の気持ちになる」ということが言われますが、人の思いはそれぞれの人を持つ性格や生活層などによって異なるので、決して同じではありません。相手の気持ちになつたつもりが、実は自分の思いを当てはめているだけなのだということがあります。これには十分に注意しなくてはならないということです。

そのためにむしろ相手の気持ちになれないのだから、相手とより多くの接点を持ちコミュニケーションをとることによって、そのギャップを埋めていけるように努力することが大切なのだということです。

今回、シニア体験の案内を見て、横浜のご真ん中で、恥ずかしいが、なかなかできないことなのでぜひ参加しようと思いい立ちました。

インスタントシニアの準備で、左右重さの違うウエイトなど様々な用具を装着すると、情報の入り口がとても狭くなりました。

目はよく見えず、視野も狭い。耳には大きな音しか伝わってこない。指先の感覚も何を持っていいのか分からなくなりました。

繁華街に出てみると、いつもと違い入ってくる情報が少ないので自己中心になつてしまします。周りのことはどうでも良くなりマイペースになり、不便なことや分かりにくいことを人の所為にしたくなるということです。

よく高齢者の特性として言われていることをそのまま体験することができました。

交通標語に「子供と老人に注意」と書かれているのを見かけますが、注意しなくてはいけないのがなぜか良くわかり、運転することに一抹の不安を感じました。

大汗をかいた体験の翌日は筋肉痛でした。

「高座組 川瀬和一」

## 編集後記

すいません。オフォオフォ……

Jで遅れちゃいました。

相 Jつてそんなに忙しいんですか。地域の為、社会の為に奉仕しているんだよ。

三 何か別の奉仕してんじやないの。てめえ、ぶつとばすぞ!!

オフォオフォ……

富 奉仕っていう点では、神浄青にも通ずるところがあるよね。

大 またまた、まじめブツちゃつてどうしたの？

富さんの場合、アジアに対する経済効果、それも一つの奉仕って事ですか？

水 うん そんな感じ。ところで

長 の奉仕つてやっぱアレ？

僕ももちろんですよ!!男はだまってアイドル一直線ですよ!!でも、僕つてそんなキャラクターでしたっけ?本当は好きですけど。

相 曾さんなんて、もっと身近な路上で奉仕にいそんでいるじゃないですか。

曾 だめよ、それは奉仕じゃなくて世直しなんだから、布教だつて。

水 やつぱ僧侶たるもの世直しだよ早く編集終わらせてパーと布教活動行こうぜ!

オフォオフォオフォ

オフォオフォオフォ